

「どの口が言うか、お前が言うか」「責任逃れするために仲間割れ」政府分科会・尾身会長らの提言を痛烈批判 島根県・丸山知事

08/04 BSS 山陰放送

政府の新型コロナウイルス対策分科会の尾身会長など専門家らが2日、感染対策と社会経済活動の継続を両立するために行った提言について、島根県の丸山達也知事は4日の記者会見で痛烈に批判しました。

島根県 丸山達也 知事

「政府の対応がなっていないという趣旨の記者会見を皆さんでされたんだと思いますが、どの口が言うのかと、お前が言うかと。そもそもこんな状況になってしまっている責任をあそこに並んでいる人たちは負ってますよ。それを一言も言及せずに、政府の対応がなっていないとか、よくそんなことが言えますねと」

丸山知事は、第6波を大幅に超える感染拡大が生じ、第7波の今のような状況が発生すると想定していなかったということが根本原因で混乱が生じていると主張。さらに…

島根県 丸山達也 知事

「一蓮托生でやって来た人たちが、責任逃れをするために仲間割れしているような感じにしか見えない。不誠実だし責任感に欠けているんじゃないか」

良い内容もあるかもしれないが「提言を見ても頭に入ってこない」として、「あなた方が冒頭で最初に言うべきことは、この状況を阻止できなかったことに対する反省の弁からではないか」と述べました。

「基本的な理解が欠如している」「ちょっと理解できない」2類→5類、全数把握見直し議論をけん制 島根県・丸山知事山陰放送

島根県の丸山達也知事は、新型コロナ感染者の「全数把握」見直し議論について、4日の記者会見で「感染症の基本的な理解が欠如している」として、けん制しました。

島根県 丸山達也 知事

「全数把握自体は維持をして、その報告事項なり、事務の簡素化をやるべきだと」

全国知事会が政府に対して要望した感染者の「全数把握」見直しについて、丸山知事は、全数把握をやめるのではなく、国への報告の仕方を簡素化することと理解しているとして、島根県としても、できる限り全数把握は続けるつもりであると述べました。

そして、政府分科会の尾身会長らの提言などでも注目を集める、全数把握の見直し議論について、次のようにけん制しました。

島根県 丸山達也 知事

●「根本的に間違っているのは、全数把握がいらいなおっしゃっている方々は、感染者が行動することで感染者を増やすという感染症の基本的な理解が欠如している」

「この感染が拡大して大変な状況になっている時に、より感染を拡大させる方向に舵を切るなんていうのは、私からすると信じられない発想」また、「定点観測なんてやったらインフルエンザと同じになる」と述べ、感染症法上の位置付けを2類相当から5類相当へ移行すべきとの議論についても釘を刺しました。

●「2類から5類という考え方もそうです。5類にしたから診てくれるお医者さんが増えるんですか?治療薬ができるんですか?病原性が低下するんですか?何も変わらないのに公費負担を自己負担にするとか、ちょっと理解できない」